

## 令和元年度(2019年度)高等学校OPENプロジェクト実施報告書(2年次)

研究指定校	北海道留萌高等学校	教育局	留萌教育局
-------	-----------	-----	-------

<b>1 研究主題</b>	
ビジネスの手法・ものづくりの技術を用いた地域課題の解決 ～関係人口の増加、継続的なふるさととの結び付きを目指して～	
<b>2 研究実践内容</b>	
月	実施内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間支援組織及び市役所との連携や、校内支援体制の構築に向けて準備を開始した。</li> <li>・第3学年電気・建築科の生徒12名及び情報ビジネス科の生徒25名が課題研究において、第1回ワークショップ「未来の大人応援プロジェクト」を実施した。(皇學館大学教授 岸川 政之氏)</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業研究会の生徒12名が「かずの子のマチ留萌フェスタ」において、第2回ワークショップ「かずもちゃん焼き」の製造販売を実施した。</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1学年情報ビジネス科の生徒31名がビジネス基礎において、第3回ワークショップ「留萌市の課題『高齢化と健康』」を受講した。(留萌市保健師)</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年次普通科の生徒144名が「総合的な学習の時間(学校祭)」において、第4回ワークショップ「パネルディスカッション『留萌地域の課題に関する研究』」を実施した。</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報ビジネス科が第5回ワークショップ「キッズビジネスタウンの実施計画」を行った。</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年情報ビジネス科の生徒82名が地域イベントの企画運営、地域貢献活動として、小学生向けビジネス体験型イベント「キッズビジネスタウン」を実施した。</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3学年電気・建築科の生徒12名及び情報ビジネス科の生徒25名が課題研究において、校内研究発表会を実施した。</li> <li>・第2学年情報ビジネス科の生徒24名がビジネス情報において、第6回ワークショップ「パワーポイントの作り方等効果的な発表方法」について学習した。</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当教諭1名が教育課程研究指定校事業研究協議会(国立教育政策研究所教育課程研究センター)に参加した。</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学科の生徒(第1学年177名、第2学年162名)が総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間において、校内研究発表会を実施した。</li> </ul>

3 地域みらい連携会議の開催内容	
第 1 回	令和元年6月20日(木) 13:30~14:30
出席者	海東委員、仲田委員、吉田委員、山中委員、林委員、本山委員、大嶋委員
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度(2019年度)事業計画について説明</li> <li>・SBP活動について説明</li> <li>・地域イベントのボランティア等とおした地域貢献について説明</li> <li>・SBPワークショップの実施状況(第1回~第3回)について説明</li> <li>・課題研究の進捗状況(課題研究発表会(1月)の内容)について説明</li> <li>・学校祭(7月)における学科ごとの作品展示及び研究発表について説明</li> <li>・総合的な学習(探究)の時間におけるキャリア学習発表会(3月)の内容について説明</li> </ul>
指導・助言を受けた内容	・留萌市以外での活動の検討をするとよい。
第 2 回	令和元年11月29日(金) 14:00~15:00
出席者	海東委員、仲田委員、吉田委員、山中委員、林委員、本山委員、大嶋委員
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度(2019年度)事業経過について報告</li> <li>・SBP活動について報告</li> <li>・課題研究の進捗状況について説明</li> <li>・学校祭(7月)における学科ごとの作品展示及び研究発表について報告</li> </ul>
指導・助言を受けた内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試作品に関する評価と改善点を実施するとよい。</li> <li>・地域イベントへの参加に対する評価確認するとよい。</li> </ul>
第 3 回	令和2年3月17日(火) 14:00~15:00 実施予定
出席者	
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度事業に関する反省</li> <li>・令和2年度事業に関する意見交換</li> </ul>
指導・助言を受けた内容	

#### 4 研究の成果と課題

##### (1) 目的の達成状況

- 実践研究において、電気・建築科が制作した地域の木材を活用した製品や情報ビジネス科が開発に携わった製品を、留萌市や旭川市、三重県伊勢市におけるイベント等で販売することができた。(留萌市の認知度についてアンケート調査を実施：伊勢市 61%、札幌・函館・旭川約 90%)
- 留萌地域の PR 活動において、留萌市等の関係機関の職員と連携を図る場面が多かったことから、生徒一人一人が物事を広い視野で捉えることができるようになった。
- キッズビジネスタウンにおいて、小学生への指導をとおして就業することの重要性や責任感について改めて認識を深めることができた。
- 課題研究の研究内容をさらに充実させるため、従来の課題研究発表会における上級生から下級生への情報伝達に加え、新たな機会を設定する必要がある。

##### (2) 目標の達成状況

- インターンシップやボランティア活動、地域の課題に係る探究活動及び発表をとおして、地域への理解を深めることができた。
- 留萌以外の地域において、留萌の PR 活動及びアンケート調査を実施し、留萌の課題を検討するための基礎データを収集することができた。(伊勢市 50 件、旭川駅前 104 件、旭川市内高校生 1200 件)
- キッズビジネスタウンに係る地元企業との打合せをとおして、仕事に対する心構えやコミュニケーションの重要性を学ぶとともに、事業所に対する興味関心を高めることができた。
- 地元企業と連携した学習の一層の充実を図るなど、留萌の魅力を改めて認識する機会を設定する必要がある。

##### (3) 実践研究の規模

- 情報ビジネス科を中心に 3 学科間の連携を図り、全校体制で実施することができた。
- 総合的な学習の時間において、普通科 3 年次の生徒が地域の課題発見と解決に向けた方策をテーマにパネルディスカッションを実施した。また、その後、ビッグデータの活用や、アンケート調査及び聞き取り調査等を基にさらにデータ分析を行い、学校祭において解決に向けた方策について提言することができた。
- 教科横断的な取組をより一層推進するため、改めて各教科における連携体制の構築を図る必要である。

##### (4) 研究成果の普及

- 自校ホームページにおける発信や新聞各社への掲載依頼など、広く地域に広報することができた。

##### (5) 実践研究内容

- 課題研究発表会では、留萌市長や大学教授、関係機関職員など外部から 39 名が出席し、市長及び岸川教授から講評及び助言を得ることができた。

##### (6) 地域みらい連携会議

- 関係機関の立場から、適切な助言を得ることにより事業計画を適宜、修正し取組を進めることができた。
- 産官学の各方面に対して委員を委嘱しているため、全員が参加できる日時等を調整する必要がある。

5 プロジェクトの達成状況	
(1) 【評価の観点】本道の基幹産業を支える人材や、地域を守り支えていく人材の育成について	
<p>(評価)</p> <p>一部の生徒に対しては、本道の基幹産業や地域を支える人材の育成につながった取組となった。</p>	
<p>(評価した理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の産業を理解し、企業等と連携して、地元の素材を活用した製品開発に取り組むことができた。</li> <li>・間伐材を活用した木工製品、ゆるキャラのカスタネットの開発、ルルロツソ(小麦)を活用した商品開発等により、地域の特産品に対する評価が高まり、生徒にクリエイティブな感性が養われた。</li> </ul>	
(2) 【評価の観点】地域の自治体や企業、産業界等の関係機関との協働について	
<p>(評価)</p> <p>地域の自治体や企業、産業界等の関係機関と協働した取組を実施し、成果や課題を共有している。</p>	
<p>(評価した理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・留萌市及び観光協会等と定期的に意見交換の場を設け、互いに協力する関係を構築することができた。</li> <li>・「かずもちゃん焼き」の実演販売は、観光協会や商店街からの要請によりイベントに16回参加することができた。</li> </ul>	
(3) 【評価の観点】生徒の主体性について	
<p>(評価)</p> <p>生徒は、指示の範囲で主体性を持って取り組むことができている。</p>	
<p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の自主性を尊重しているが、「かずもちゃん焼き」に関連した商品開発においては、安全性や衛生面を考慮し、教員からの指示が多くなる場面もあった。</li> </ul>	
(4) 【評価の観点】地域課題の解決状況について	
<p>(評価)</p> <p>取組により、地域課題の解決につなげることができた。</p>	
<p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の明確化が進むことで、地域等への波及性の大きさを実感し、複数年での取組が必要となっている。</li> <li>・道外で開催されたSBP交流フェアにおいて、他校の取組を学ぶとともに、自分たちの取組をポスターセッションで発表することができた。</li> </ul> <p>また、その際に実施したアンケート調査により、留萌の知名度が低いことを改めて認識することができた。</p>	
6 今後の取組	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携を図り、具体的な課題解決に取り組むことができた。今後、さらに深く掘り下げていくため、産官学の各委員及び道外の高校を含めた他校との連携を強化し、継続的な活動としていきたい。</li> <li>・次年度は、留萌市との協力をより一層強め、留萌市と協力したSNSによる情報発信の検討や、各イベントにおけるプロモーション活動をさらに充実させていく予定であり、地元企業との連携した学習の一層の充実を図りたい。</li> </ul>	

- 商品としての可能性を広げるための探究活動を実施しているが、次年度は、聞き取り調査やアンケート調査によるマーケティングリサーチの充実を図り、ターゲットの明確化及びターゲットに合わせた商品開発に取り組んでいきたい。
- 課題研究発表会及び校内研究発表会については、再構成を図るなど、教科及び学科横断的活動として、成果を有効に活用できる継続的な活動となるよう、緊密な連携体制を構築していく。

## 7 参考資料

### (1) 「パネルディスカッションの様子」



7月11日(木)、普通科の全年次の生徒が、留萌の課題についてアンケートや聞き取り調査を実施し、学校祭において、観光やビジネス、環境、未来等をテーマにポスターを作成し、それぞれのブースにおいて発表を行った。

### (2) 「『呑涛まつり』の様子」



7月27日(土)、電気・建築科の生徒が作成した行燈を用いて、留萌市で行われた「呑涛まつり」に参加した。

### (3) 「キッズビジネスタウンの様子」



11月30日(土)及び12月1日(日)の2日間、7回目の実施となる仮想地域社会「キッズビジネスタウン」を本校を会場に実施した。参加小学生201名に対して生徒達は14のブース(職場)を設置し、小学生に労働の意義を伝えた。

### (4) 「旭川駅マルシェの様子」



9月14日(土)～16日(月)の3日間、地元菓子店の協力を得て、道北地区で最大の食品フェアである「旭川食べマルシェ・駅マルシェ2019」に出店し、「かずもちゃん焼き」の販売活動を行うとともに、留萌に関するアンケート調査を実施した。

(5) 新聞記事

○日刊留萌 (令和元年9月20日)

○北海道通信 (令和2年1月31日)

令和元年9月20日 (金) 日刊留萌

### 商業活動の内容を発表

SBP留萌高校から13人参加

留萌市立留萌高等学校(以下、留萌高)は、9月19日(金)に本校で「SBP留萌」の商業活動の内容を発表した。参加者は、留萌高の商業科1年生から3年生まで、計13人。発表は、留萌高の商業科の先生による司会進行で行われた。発表内容は、留萌高の商業科の先生による司会進行で行われた。発表内容は、留萌高の商業科の先生による司会進行で行われた。



セッションで「かずもちゃん焼きがいたこと」をテーマに発表する留萌1(同校提供)

「かずもちゃん焼きがいたこと」をテーマに発表する留萌1(同校提供)

令和2年1月31日 (金) 北海道通信

### 遠別小 留萌高 南山氏に栄誉

#### 留萌局 管内教育実践表彰

【留萌局】留萌教育委員会は、令和元年管内教育実践表彰の受賞者を決定し、学校教育の向上、社会教育の推進に大きく貢献したとして、遠別小、留萌高、南山氏に栄誉を贈った。表彰式は、1月31日(金)に留萌局庁舎で行われた。表彰式には、留萌局の職員、関係者、受賞者、南山氏ら約50人が参加した。

受賞者は、遠別小の南山氏、留萌高の南山氏ら約50人が参加した。



表彰式の様子(左)と、受賞者の南山氏(右)。

○北海道新聞留萌・宗谷版 (令和2年2月6日)

令和2年2月6日 (木) 北海道新聞(留萌・宗谷版)

### 留萌高キャリア教育 文科省表彰

#### 商品開発 職業体験催事を評価

留萌高等学校(以下、留萌高)のキャリア教育が、文科省から表彰された。留萌高は、商品開発や職業体験などの取り組みが評価された。

留萌高は、商品開発や職業体験などの取り組みが評価された。



商品開発の授業の様子(左)と、職業体験の様子(右)。